

# さよなら原発 いのちが大切

6000名の声が訴えた

2012年3月24日 日比谷野外音楽堂会場でさよなら原発1000万人アクションが行われた。



3月24日、日比谷野外音楽堂会場で「さよなら原発1000万人アクション」が行われ、当日は小雨状態が続き、傘をかざした中で12時から開場、13時半より呼びかけ人3名（鎌田慧・澤地久枝・辛渉玉）が挨拶しました。そのあと各地・各団体から、原発事故から1年たった経過等の報告がありましたまた「脱原発を実施し、自然エネルギー中心の社会を求める全国、1000万人署名」について、約550万

署名が現在集まっているが、5月まで延長し、更に署名を集めようと要請がありました。約6000名が集まり、パレードは日比谷公園からスタートし「さよなら原発、いのちが大事」「再処理場はいらない、いのちが大事」放射能はごめんだ、いのちが大事」とパレードコールを続けパレードしました。

東電本社前では「東電は原発から撤退しろ」と思いをぶつけ銀座の町並みを過ぎ、東京駅を過ぎ、東京駅を過ぎ「子ども達を守ろう」「海・空・大地を守ろう」「原発を止めよう」「プルトニウムはいらない」の声が町並みに響き渡りました。

